

施設概要

【建物概要】

- ・ 構造等 地上2階 軽量鉄骨造
- ・ 主用途 食品加工室、試験室、貸事務室、研修室
- ・ 敷地面積 1,179.59 m²
- ・ 建築面積 289.72 m²
- ・ 延床面積 476.98 m²

【主要設備概要】

- ・ スチームコンベクションオーブン
焼く、蒸す、茹でる、炊く、揚げる、炒めるなどが可能な万能調理機
- ・ プロトン凍結機
細胞内の水分を粒氷上に急速凍結し細胞組織の破壊を防ぐ業務用急速凍結機
- ・ 真空巻縮機
小ロットの缶詰を手軽に制作可能
- ・ 金属検出機、電解水生成装置、冷凍冷蔵庫、煎餅製作機 等

【施工】

大和リース株式会社 岩手支店
岩手県盛岡市西仙北1丁目16-10

【設計・監理】

株式会社武田菱設計
岩手県盛岡市志家町4-11

おおつち地場産業活性化センター
安渡地区研究棟



地方創生拠点整備事業

大槌町地域産業イノベーション事業 新産業創出研究センター研究棟整備事業

平成31年3月竣工

施設紹介

ごあいさつ

平成23年3月の東日本大震災の発生以来、当町では、多くの皆様からのご支援を頂きながら、インフラ施設を中心とした町の復興、復旧を進めると同時に、未来に向けた産業創出事業にも取り組んで参りました。

今般、無事竣工しました「おおつち地場産業活性化センター安渡地区研究棟」は、当町が国の地方創生拠点整備事業を活用し、第一次産業を中心とした新産業創出を目的に町内に整備を進めております3つの拠点施設の内の中心施設となります。

農林水産業は自然に密着した形で営まれている産業であるため、気候変動の影響などにより安定した収量が困難であったり、生育不良などによる品質のばらつきが発生するなどの課題が絶えません。

当町では第一産業の課題を解決すべく、町内に整備する3施設を活用し、水産物の陸上養殖技術及び生産技術の開発、農産物等の新たな栽培技術の開発などにより、新たな産業の創生、担い手の確保・育成、六次産業化等に取り組み、生産、流通、販売の実証も行い、関連する事業者及び研究機関と連携し、住民の所得の向上と人口数の維持・増加を目指していきたいと考えております。

特に安渡地区研究棟は加工室、研修室等を備えており、特産品の開発、六次化の促進、試験研究等の中心施設として今後、町内外の第一次産業従事者、事業者、研究者等の多くの皆様に広く活用して頂ける様な施設として運営を行っていきたく考えておりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和元年6月27日

大槌町長 平野 公三

1階 加工室



2階 貸事務室



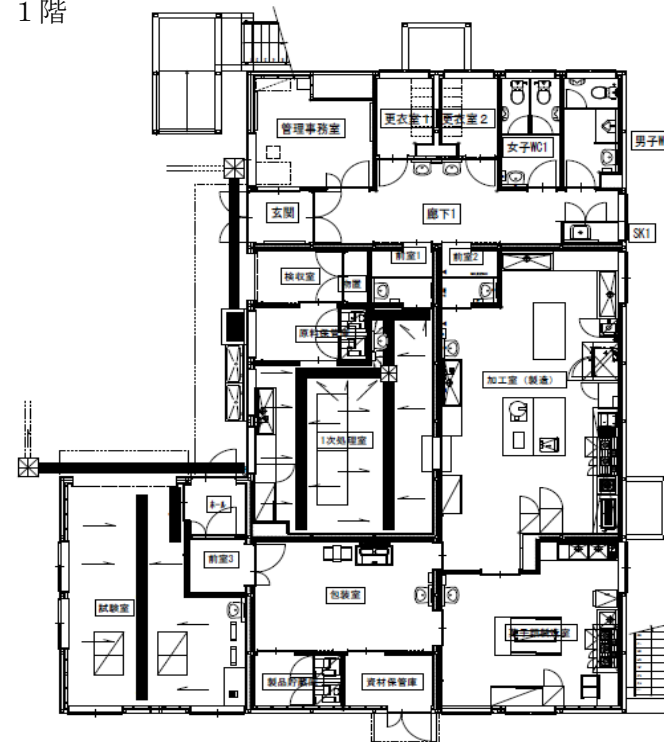
1階 処理室



2階 研修室



1階



2階

